

市 政 一 般 質 問

(通 告 内 容)

令和 2 年第 1 回

那須塩原市議会定例会

(3 月)

【一 般 質 問 者】

議席 1 0 番	佐藤 一則	議員
議席 2 5 番	山本はるひ	議員
議席 6 番	小島 耕一	議員
議席 1 番	益子 丈弘	議員
議席 2 番	山形 紀弘	議員
議席 7 番	森本 彰伸	議員
議席 1 4 番	鈴木 伸彦	議員
議席 5 番	星野 健二	議員
議席 2 3 番	金子 哲也	議員
議席 1 9 番	高久 好一	議員
議席 3 番	中里 康寛	議員
議席 8 番	齊藤 誠之	議員
議席 1 6 番	櫻田 貴久	議員
議席 9 番	星 宏子	議員

受付番号	令和 2 年 2 月 10 日
第 / 号	午前 8 時 35 分受付 午後

令和 2 年 2 月 10 日

那須塩原市議会議長 吉 成 伸 一 様

議席番号 10 番 佐藤 一則



市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年第 1 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 気候変動に対する具体的な 対策について	人間の活動に起因する気候変動は、私たちの生活様式や地球の未来を脅かしています。気候変動に取り組むことにより、あらゆる人にとって持続可能な世界を構築できます。異常気象や海水面の上昇は、先進国、途上国の人々と財産に影響しています。零細農家からビジネスマンに至るまで、気候変動は貧困層や社会的弱者、さらには女性、子ども、高齢者を中心に、あらゆる人に影響を及ぼしています。何も対策を取らなければ、地球の平均気温上昇は3° Cを超え、あらゆる生態系に悪影響を及ぼします。すでに、気候変動が暴風雨や災害、さらには紛争の原因となりかねない食糧不足や水不足などの脅威を悪化させる様子を目の当たりにしています。何もしなければ、すぐに対策を取った場合よりも多くのコスト被ることになります。より多くの雇用、より大きな豊かさ、よりよい生活をすべての人にもたらしながら温室効果ガス排出量を削減し、気候変動に対しレジリエンスを構築する行動を起こすチャンスがあります。私たちが気候変動の問題解決に取り組めることは間違いありませんが、取り組みを大幅に拡大することは必要です。全世界で多くの動きがみられ、再生可能エネルギーへの投資も急増しています。2015 年 12 月、世界はパリ協定を採択し、すべての国が気候変動への取り組みを約束することによって、大きな一歩を踏み出しました。多くの企業や投資家も排出量の削減を約束していますが、これは単に、そうすることが正しいことである

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	からだけでなく経済面でもビジネス面でも適切なことだからでも
	あります。緩和費用の推計は、気候変動削減による恩恵を考慮に
	入れていません。その中には、きれいな空気や食料の安定確保、
	都市の生活環境改善、そして健康の増進が含まれています。今すぐ
	に行動することで、人命を救い、資金を節約し、これまでに取り組
	んで達成してきた成果の前進の挫折を避けることができることから
	以下について伺います。
	(1)地球温暖化を防止する施策について
	①地球温暖化対策実行計画の推進について現状と課題
	②次世代自動車、低公害車の普及促進について現状と課題
	③環境負荷の少ない事業活動やライフスタイルの取組促進に
	ついて現状と課題
	(2)再生可能エネルギーの適正な利用を促進する施策について
	①エネルギーの地産地消の促進について現状と課題
	②産業振興と連動した再生可能エネルギーの導入について
	現状と課題
	(3)エネルギーの取組を推進する施策について
	①省エネ機器、高効率機器等の普及促進について現状と課題
	②住宅、建物の低炭素化の普及促進について現状と課題

受付番号	令和 2 年 2 月 12 日
第 2 号	午前 午後 10 時 30 分受付

令和 2 年 2 月 12 日

那須塩原市議会議長 吉 成 伸 一 様

議席番号 25 番

山本はるひ

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年第 1 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 令和 2 年度当初予算編成について	(1) 当初予算についての基本的な考えと、予算編成の裏付けとなる市政運営方針についての市長の考えを伺います。さらに、市長の考えをどのように各課に伝えているか伺います。 (2) 事務事業評価の結果を当初予算にどのように反映させているか、具体的に伺います。
2. 太陽光発電事業に関する条例制定について	市は 2018 年 4 月に「那須塩原市再生可能エネルギー発電設備の設置等に関するガイドライン」を策定しています。このたび太陽光発電設備に特化した「那須塩原市太陽光発電事業と地域との調和に関する条例」を制定することになりました。 (1) 条例制定に至った経緯を伺います。 (2) 「持続可能なまちづくり」を推進していくという観点から、本市での太陽光発電事業についての考えを伺います。
3. まちなか交流センターについて	2019 年 7 月 20 日に開館したまちなか交流センターの利用状況と課題、及び、今後の運営について伺います。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
2 自治会活性化の支援について	市では、令和2年度市政運営方針における「基本政策5 地域の力と交流を生み出すために」において、引き続き自治会活性化支援事業に取り組むこととしております。 自治会では、地域の方々が安全で安心な生活ができるように、子供や高齢者の見守り、防犯灯の設置や災害時の助け合いなど防犯防災、ゴミステーションなどの環境美化、市からの広報誌配布などの広報、お祭りなどの親睦交流など重要な活動を行っています。しかしながら、自治会の加入率は低下傾向で自治会を解散した事例もあると聞いております。このような中で、自治会加入率の向上や活性化にどのような様に取り組むのか質問します。 (1) 自治会の加入率の現状と加入促進に向けた取組について (2) 自治会で取り組む自主防災組織の現状と今後の支援策について (3) 自治会で取り組む高齢者の見守りなどの現状と今後の支援策について (4) 自治会への支援事業の現状と今後の取組について (5) 自治会長などリーダー支援の現状と今後の取組について
3 インバウンド対策について	令和2年度市政方針における「基本政策5の地域の力と交流を生み出すために」の中で、ベトナム社会主義共和国や台湾など、海外との連携にも積極的に取り組み、人材交流、地場製品の販路拡大、インバウンドの展開等につなげてまいるとしております。 また、本年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されることから、インバウンドの受け入れ態勢を整え、インバウンド拡大の転機にすべきと考えられます。

受付番号	令和 2 年 2 月 13 日
第 4 号	午前 5 時 5 分受付 

令和2年 2月13日

那須塩原市議会議長 吉 成 伸 一 様

議席番号 1 番 益子 丈弘



市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和2年第1回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1、地球環境に配慮したまちづくりの機運の醸成について	かけがえのない地球を守り次代へつなげていく想いは尊いものです。この想いの共有は地球に住む全ての人々に必要となることは言うまでもありません。私たち一人ひとりがその想いをもち続けていくことが大切です。現在、本市においては、渡辺市長を中心に CO2 排出量実質ゼロ宣言、再生可能エネルギーなど地球温暖化対策を積極的に推進し、地球環境にやさしいまちづくりの市として認知されてきているところです。より身近に、私たち市民の暮らしに根差すものにする必要性を感じることから以下についてお伺いいたします。 (1) 地球温暖化対策推進事業についての現状と課題をお伺いいたします。 (2) 市民を巻き込んだ取組を行うお考えはあるかお伺いいたします。 (3) 地球温暖化対策で関係団体などの連携はどのように取り組むのかお伺いいたします。

[illegible]

受付番号	令和 2 年 2 月 13 日
第 5 号	午前 5 時 15 分受付 午後

令和2年 2月13日

那須塩原市議会議長 吉 成 伸 一 様

議席番号 2番 山形 紀弘



市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和2年第1回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 本市の中小零細企業について	昨年10月に消費税が8%から10%に増税されて、約半年が過ぎようとしております。増税によって地方経済の景気や雇用状況は依然にも増して大変厳しい状況であります。内閣府が2月に発表した2019年12月の景気動向指数の中で景気の現況を示す一致指数は94.7となり、前年からのマイナス幅は世界的な経済危機を招いたリーマン・ショック時以来の大きさと報告がありました。 経済の根幹である中小零細企業は、全企業の99.7%を占め、働く人の3人に2人が働いている雇用の担い手と言われております。 現在、地域社会の担い手として市の発展と市民生活の向上に寄与してきた中小零細企業や商店は減少し、ものづくりの継承も困難となっております。持続可能なまちづくりの視点からも、市内の中小零細企業に対する取組は重要になってくることから、以下の点についてお伺い致します。 (1) 過去の推移から見た本市の景況の所感をお伺い致します。 (2) 本市の雇用状況をお伺い致します。 (3) 本市の中小零細企業の役割についてお伺い致します。 (4) 本市の事業承継に対する取組をお伺い致します。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(5) 本市の起業や創業に対する取組をお伺い致します。
	(6) 今後、中小零細企業に対する新たな取組があればお伺い致します。
2. 本市の防犯について	防犯とは未然に防止することであり、家屋に侵入して来る犯罪者に対して予防したり、また危害を加えられそうになったときに抵抗するための用具を携帯する受動的防犯と、地域を巡回したり、家庭を戸別訪問して犯罪の芽を摘み犯行を未然に防ぐ能動的防犯とに分けられます。近年では防犯体制の強化によって犯罪認知件数が減少傾向ではあるが、時代の変化に伴って犯罪も多様化しております。本市でも防犯について様々な取組を実施しておりますが、目指すまちの姿として、暮らしの安全が確保され誰もが安心して暮らせるまちづくりにおける防犯体制の充実や防犯意識の高揚、防犯環境の整備は非常に重要になることから、以下の点についてお伺い致します。 (1) 本市の防犯に対する課題と取組についてお伺い致します。 (2) 市内公共施設の防犯体制と課題についてお伺い致します。
3. 本市の水不足解消に向けた取組について	人が生きていくためには、水はなくてはならないものです。家庭では、炊事・洗濯、お風呂、水洗トイレで使うのをはじめ、デパートやホテル、プール、学校や病院などの公共の施設などでも多くの水が使用されております。また、生活のための水だけではありません。農作物をつくるための田んぼにも必要であり、工場でも大量の水を使用します。水は人々の暮らしになくてはならないと考えられることから、以下の点についてお伺い致します。

受付番号	令和 2 年 2 月 14 日
第 6 号	午前 4 時 00 分受付 午後

令和2年 2月14日

那須塩原市議会議長 吉 成 伸 一 様

議席番号 7番

森本 彰伸



市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和2年第1回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 健康課題を抱える児童生徒への支援について	近年子どもたちは、多様化する社会の中、様々な健康問題に直面しています。生活習慣の乱れからくる肥満や痩身、アレルギー疾患の増加、精神的な問題など、抱える健康課題も多様化しています。時にこのような健康課題を抱える子どもたちの背景に、いじめ、虐待そして貧困などの問題が隠れていることがあります。 単に健康問題として、治療を進めるだけではなく、そこに隠れる課題に目を向け支援をしていくことが子どもたちの健全な成長には不可欠になっていることから、本市の小中学校における児童生徒の健康管理と指導、支援についてお伺いします。 (1) 児童・生徒の健康診断の実施状況について (2) 健康診断での検査項目について (3) 健康診断の結果の活用について (4) 児童生徒から、担任教諭への健康状況の相談状況と対応について (5) 保健室での児童生徒からの相談状況と対応について (6) スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの役割について

受付番号	令和 2 年 2 月 17 日
第 7 号	午前 9 時 10 分受付 午後

令和 2 年 2 月 17 日

那須塩原市議会議長 吉 成 伸 一 様

議席番号 14 番

鈴木伸彦



市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年第 1 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 地域コミュニティ交通について	市では平成 19 年 10 月より従来の市営バスに変わり「ゆーバス」の運行を開始し、幾度も見直しを計り、平成 30 年 3 月には那須塩原市地域公共交通網形成計画を策定し現在に至っています。その間、少子高齢化は進行し高齢者の事故が社会問題となっていることは周知の通りです。しかしながら、本市の広域という特性から高齢者が免許返納することは難しいのが現状であると思われまます。そこでお伺いします。 (1)平成 30 年 10 月の地域バス再編後の課題全般についてお伺いします。 (2)「通院」「買物」等、高齢者の立場に特化した課題は何かお伺いします。 (3)市民と協働で出来ることはあるかお伺いします。
2. ひきこもり対策について	今、「ひきこもり」の長期・高齢化が深刻化しています。国の推計によると、ひきこもりの人は 54 万人。しかし、これは 39 歳以下の人数に限った数字であり、40 歳以上の人を含めると 100 万人におよぶという見方もあります。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	かつては、若者の問題として注目された「ひきこもり」です。
	しかし今年、内閣府は初めて 40 歳から 60 歳の実態調査に乗り出すことを発表しました。背景にあるのは、ひきこもりの長期・高齢化の問題。40 代、50 代になったひきこもりの人が、高齢化した家族と共に追い詰められ、社会的に孤立している深刻な事態が全国で相次いで報告されているとのことです。そこでお伺いします。
	(1)ひきこもりの定義についてお伺いします。
	(2)ひきこもりとなる要因についてお伺いします。
	(3)ひきこもりの何が問題なのかお伺いします。
	(4)本市のひきこもりの現状についてお伺いします。
	(5)ひきこもりの解決策についてお伺いします。
	(6)今後の取組についてお伺いします。
3. 企業誘致の展望について	企業誘致は人口減少抑制の一つになり、経済発展・雇用拡大・税収確保に繋がります。その為、本市に留まらず日本中の自治体が企業の誘致に期待を寄せているのが現状です。現在造成中の那須高林産業団地は県内を見回すと後手に回ってしまったようにも思えます。そこでお伺いします。
	(1)那須高林産業団地造成工事の進捗状況についてお伺いします。
	(2)企業誘致の取組と現在の問い合わせ状況についてお伺いします。
	(3)大田原市などと広域連携し企業立地を検討することについてお伺いします。
	(4)企業誘致に対する課題、取組、展望についてお伺いします。

受付番号	令和 2 年 2 月 17 日
第 8 号	午前 9 時 30 分受付 午後

令和2年 2月17日

那須塩原市議会議長 吉 成 伸 一 様

議席番号 5 番

星 野 健 二



市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和2年第1回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 就職氷河期世代への支援について	就職氷河期世代とは、バブル崩壊による不景気で、就職が特に厳しかった1993年から2005年頃に大学などを卒業した、現在30歳代半ばから40歳代後半にさしかかった世代をいいます。ロスジェネレーションとも呼ばれています。不景気で厳しい雇用環境の中で、新卒にもかかわらず正規雇用につけず1997年から2004年には、毎年8万人から12万人が未就職で高校、大学を卒業しフリーターといった非正規雇用として仕事に就いていきました。 厚生労働省の調査によると、正規雇用を希望しながら非正規雇用で働く人は50万人、仕事をしていない人は40万人に及んでいるとの結果が出ています。また、この世代は、就労におけるつまづきからひきこもり状態となり、その後社会復帰が出来ない方も多くいます。これまでも警鐘が鳴らされてきた中、貧困に苦しむ若者への支援を打ち出してきましたが、十分な成果は得られなかったとの反省のもと、国は、新たに就職氷河期世代支援プログラムを策定し、今後3年間で集中期間として正規雇用者を30万人増やす目標を掲げました。今後、就職氷河期世代が60歳代を超えてくると、生活困窮世帯や生活保護受給者の増加、社会保障費の急増

受付番号	令和 2 年 2 月 17 日
第 9 号	 9 時 40 分受付 午後

令和 2 年 2 月 17 日

那須塩原市議会議長 吉 成 伸 一 様

議席番号 23 番

金子 哲也



市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年第 1 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1 近年黒磯地区と西那須野地区の行政施策の実施状況を比較して	那須塩原市も合併後 15 年を迎えることになりました。その間、旧 3 市町のまとまりと一体感の醸成を目指してやってきましたが、一方でなかなか思うように進んでいないものがあります。時に西那須野地区の住民から合併後の不満の声がいまだに聞かれるなか、市はこれからの那須塩原市をどのような方向を目指していくのか、ハードの面とソフトの面で考えていきたいと思います。 (1) 近年のスポーツ施設の建設や改修は黒磯地区に偏り過ぎてはいませんか。 (2) 黒磯駅前において、まちなか交流センターくるるや那須塩原市図書館みるるが新設されましたが、西那須野地区には何か計画はありますか。 (3) 板室街道添いにアート 369 プロジェクトが進んでいます。西那須野地区には何か企画を考えていませんか。 (4) 西那須野地区には取組んでほしい事業がたくさんありますが、次のことについてお伺いします。 ① 那須野が原博物館収蔵庫の増築 ② 市道南郷屋・睦 420 号線の拡幅

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	③ 田園空間博物館の整備改修
	④ 槻沢遺跡の発掘
	⑤ 健康長寿センターを拠点とした高齢者及び子どもの居場所づくり
	⑥ 県北の児童養護施設の創設
	(5) 福祉に関する黒磯・西那須野の比較
	① 市の集団検診の箇所数
	② 民生委員・児童委員の配分数
	③ 地域包括支援センターの箇所数
	(6) 令和2年度予算における両地区の比較
	① 体育施設管理運営費
	② 文化会館費
	③ 学校給食共同調理場管理運営費
	(7) 両地区の自治会の数やあり方に大分違いがありますが、自治会の統一や、一体化の醸成ができないか。
	(8) 前文で書いたように、市全体の一体感を必要と考えているか。また、考えているなら、どうすればよいと思うか。私には市全体で、一体となって盛り上げる市民のまつりが一番必要なのではないかと考えるのですが。

受付番号	令和 2年 2月 17日
第10号	午前 11時00分受付 午後

令和 2年 2月 17日

那須塩原市議会議員 吉成 伸一 様

議席番号 19番

高 久 好 一



市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和2年第1回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。
記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1、市の出生率と子育て支援について	国の地方創生が行き詰まり、首都圏への一極集中が加速し、地方から人が転出する人口減少が進むなか、本市の対策について伺う。 (1)本市の子どもの誕生を表す合計特殊出生率はどのようにになっているか。 (2)合併後、本市と連携する市町の人口増減はどのように推移しているか。 (3)市は、昨年「子どもの生活実態調査」を行った。 その結果を受け、本市の子育て支援策はどのように取り組むのか。 (4)県内には、希望出生率という数値目標を提示し、子育て支援を拡充する自治体もある。 本市の子どもを増やすための指標は何か。
2、がん検診について	市民の健康を向上させるための対策や活動が行われている。 本市の受診状況と課題について考えを求める。 (1)市民の受診状況の推移と、県内における他市町との比較ではどのようにになっているか。 (2)所得の低い層や従業員の少ない事業所への未受診対策はどのように行われているか。 (3)健診結果の告知や精密検査受診のための啓発活動は、どのように行われているか。 (4)受診率を向上させるため、市民の一部負担金をなくす考えはあるか。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
2. 小中学生の防災教育について	我が国では、毎年、地震や風水害など多くの異常な自然現象が発生しており、これらの自然災害の被害を小さくするためには、「自助」、「共助」、「公助」の取組が重要です。平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、大規模広域災害時における「公助」の限界が明らかになった一方で、「自助」、「共助」の重要性が再認識されました。これをきっかけにして「自助」、「共助」の力を向上させる取組として、防災教育への関心が高まっています。 防災教育の目的は、地域に属する一人一人の防災意識の向上を図り、地域内の連携を促進することなどにより、地域の防災力を強化することにあります。その中で小中学生における防災教育は、児童生徒自身が状況に応じて判断し、自ら率先して行動できる力を育成するために実施され、同時に地域社会の一員として将来の防災の担い手を育成することが求められていることから以下の点についてお伺い致します。 (1) 本市の小中学生における防災教育の考え方と現在の取組についてお伺い致します。 (2) 本市の小中学生における防災教育の方向性と課題についてお伺い致します。
3. 那須塩原サテライトオフィスの誘致活動について	本市では、平成27年度に策定した「那須塩原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」にサテライトオフィス誘致を重要施策として位置づけ、平成27年度及び平成28年度において、業種の調査と企業へのヒアリングなどを行い、誘致の可能性や課題などを把握しました。本市は比較的中小企業のIT業者のほうがサテライトオフィスを誘致しやすいという結論を得ている中で、様々な

受付番号	令和 2 年 2 月 17 日
第 12 号	 午後 11 時 30 分受付

令和2年 2月17日

那須塩原市議会議長 吉 成 伸 一 様

議席番号 8 番 齊藤 誠之



市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和2年第1回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 若者の力を生かしたまちづくり	本市では、まちづくりに関する施策や取組が展開されております。その中の主体は、行政や民間等、そして官民協働であり、その年齢構成は若者から高齢者までと、多世代が協力しあって行われております。多くの団体により様々な事業が行われるなかで、本市では、まちづくりへの若者の参画を促し、そのアイデアや意見を十二分に生かして施策や取組へ反映し、実行していくことに対しては、まだ積極的では無いように思えます。これまでの取組に加え、今後は若者が主体で活躍できる場所を設けることはとても重要であり、自分の住む地域の将来を考え、まちづくりに参画して行くことは、結果として、自分たちが暮らすまちへの愛郷心が醸成され、本市のまちづくりへの大きな力になるのではと考えことから以下の点についてお伺いいたします。 (1) これまでに行政や官民協働での事業において、若者が主体となって行われた事業があればお伺いいたします。 (2) まちづくりに関連する団体等で若者が関わっている団体はどのくらいあるのかお伺いいたします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(3) 若者の力を本市として、どのように捉えているのかお伺いいたします
	(4) 今後、若者が主体での事業を行う考えがあるかお伺いいたします。
2. 本市の教育のさらなる躍進について	本市の「人づくり教育」は将来、子ども達が社会の一員として自己実現を図るために必要な人格の基礎づくりを目標として、3つの柱を中心に取り組み、それ以外にも子どもたちの教育環境では、ALTの常駐配置、ICT機器の導入、なすしおばら学び創造プロジェクト等、教員の業務負担軽減では校務支援システム等、地域との連携では、地域学校協働本部事業等と多岐にわたる取組を実施しております。しかしこれらの教育環境は学校単位で変わり、ハード、ソフトを含めて、これからも改善が必要なものがあると考えます。今後も本市の教育の取組を円滑に進めるためには、その学校ごとに合わせた対応も必要になることから以下の点についてお伺いいたします。
	(1) 各学校におけるハード面の整備について
	①学校環境整備について、大規模校、中規模校、小規模校それぞれの課題をお伺いいたします。
	②今後の環境整備についてお伺いいたします。
	(2) 児童生徒と教員について
	①教員がクラスで受け持つ児童生徒数について本市の所見をお伺いいたします。
	②教員の働き方改革がクローズアップされる中で、教員についての本市の課題をお伺いいたします。

受付番号	令和 2 年 2 月 17 日
第 / 号	午前 11 時 40 分受付 午後

令和2年 2月17日

那須塩原市議会議長 吉 成 伸 一 様

議席番号 16番

櫻田 貴久



市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和2年第1回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1、観光行政について	本市の基幹産業でもある、観光業の益々の発展を期待し以下についてお伺いします。
	(1) 2019年の観光客入込み数及び宿泊者数についてお伺いします。
	(2) 2019年の取組の実績をどのように分析しているのかお伺いします。
	(3) 2019年の観光地の課題をどのように対応し、解決していくのか取組についてお伺いします。
	①塩原温泉について
	②板室温泉（黒磯地区）について
	③西那須野地区について
	(4) サステイナブルな観光地を本市としてはどのように捉えているのかお伺いします。
	(5) 改めて、2019年度の観光行政の取組を振り返り、どのように評価しているのかお伺いします。
	(6) 那須塩原市観光マスタープランの進捗状況についてお伺いします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
2、本市の結婚支援政策について	人口減少問題の解決の一つに結婚支援対策は、重要な政策課題です。どこの自治体も取り組んでいるこの政策に、那須塩原市の特徴を活かした取組ができれば課題解決の一助になることを期待して以下についてお伺いします。 (1) 本市の少子化・未婚化の現状についてお伺いします。 (2) 本市の結婚支援の取組についてお伺いします。 (3) 結婚支援事業について、取組初年度から今年度までの実績についてお伺いします。 (4) 本市の結婚支援及び婚活の課題についてお伺いします。 (5) 今後、本市としては、結婚支援についてどのように取り組むのか、今後の施策についてお伺いします。
3、本市の移住・定住政策について	月刊誌「田舎暮らし」2020年版 第8回「住みたい田舎」ベストランキングで、全230項目のアンケートに629市町村が回答。人口別、世代別、エリア別に暮らしやすいまちランキングを人口10万人以上の自治体において、本市が、子育て世代が住みたい田舎部門で第32位、シニア世代が第39位にランクインしました。本市のポテンシャルの高さを考えると、移住・定住政策に関して、他市を圧倒できる可能性が多いにあることから以下についてお伺いします。 (1) 本市のここ数年の移住者の推移についてお伺いします。 (2) 本市の移住・定住政策の取組についてお伺いします。 (3) 今までに、スクラップアンドビルドを繰り返し政策に取り組んできたと思いますが、本市の強みと弱みをどのように分析し、課題解決に向けて取り組んでいるのかお伺いします。

受付番号	令和 2 年 2 月 17 日
第 14 号	午前 11 時 50 分受付 午後

令和 2 年 2 月 17 日

那須塩原市議会議長 吉 成 伸 一 様

議席番号 9 番 星 宏 子



市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年第 1 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 所管を横断した小中一貫教育と子育て施策について	本市の子育てや教育の施策は、発達に支援の必要な子どもが成人するまで切れ目のないサポートをする「発達支援システム」や、教育では小中一貫教育に取り組んでいます。
	兵庫県小野市においては、お母さんのおなかの中に「いのち」が宿った時から、脳科学に基づくキャリア教育を意識し、-1歳から15歳までの16年間を脳の発達に応じた「夢と希望の教育」を展開しています。
	子どもを育む家庭教育から就学前教育、義務教育を1～3期に分類し、乳児期、幼保、小中一貫教育へとつなぎ子どもの成長を育む取り組みは、「生きる力」を育てる本市の教育理念を推進し、人生の土台をつくる上で大切な柱になると考えることから以下について伺います。
	(1) 平成28年度から市全体で小中一貫教育を開始して3年が経過していることから現状と課題について伺います。
	(2) 新たな施設一体型小中一貫校の教育方針について伺います。
	す。

[illegible]